

少年育成センターだより

令和元年 12月発行

米子市少年育成センター

令和元年も残すところあとわずかになりました。この一年間をふり返り、次年度に向けて目標をたてて計画的に過ごしましょう。

保護者の皆様へ

米子市内の小・中・高校では SNS に関するトラブルやネットを介するゲームのトラブルなどが多かったようです。また、交通事故が多く発生しています。特に自転車の交差点での一時停止を怠ったために起きた事故が目立ちました。

一方では子育ての相談や子どものゲーム依存に関する相談、その他非行に関する相談が各相談機関に寄せられています。

多様な時代にあって、個々の個性を尊重しながら、まわりと協調して誰もが幸せに生活をしていくためには、子ども達にどんな力や能力が必要だろうか？ということ、家庭、学校、関係機関、そして地域みんなですっかり考えていく必要があります。これは、子ども達だけの問題ではなく、大人にも同じことが言えるのではないのでしょうか。

不審者情報について

米子市内で発生した不審者情報についてお知らせします。(4月～11月中旬：51件)

- 声かけ 19件 (小学生：8件、中学生：3件、高校生8件)
- つきまとい 12件 (小学生：4件、中学生：3件、高校生5件)
- 変質的行為 8件 (小学生：0件、中学生：4件、高校生4件)
- 写真撮影 10件 (小学生：4件、中学生：0件、高校生6件)
- 暴力的行為 1件 (小学生：0件、中学生：0件、高校生1件)
- その他 1件 (小学生：0件、中学生：0件、高校生1件)

※前年度、前々年度の同時期の発生件数は、昨年45件、一昨年53件でした。

不審者の情報については、被害にあった子どもや保護者が学校に連絡をします。緊急を要する場合には、学校、教育委員会、警察などが連携して緊急対応をおこないます。それ以外の場合は、当該学校から近隣の小・中・高校や保育園・幼稚園、公民館等に情報がいきます。当センターに情報が入ると市内すべての小・中・高校に情報を伝えて、児童生徒に注意喚起をしていただくとともに、該当地域の少年指導委員に連絡をします。それにより、地域での見守りや巡回パトロールを強化していただきます。

い か の お す し

いか⇒知らないひとにはついてい**か**ない
の ⇒知らないひとのくるまに**の**らない
お ⇒「たすけて」と**お**おこえをだす

す⇒こわいことがあったら**す**ぐにげよう
し⇒どんなことがあったのかほ**し**ゃや
せんせいに**し**らせる

ネットのトラブルについて

全国的にネットのトラブルが増加しています。一例としては、ネット上に画像をアップされて困っている。ネットで知り合った異性と知り合いトラブルが起きた。ネットを介するゲームで知らないうちに多額の課金が発生してしまった。ネット詐欺にあった。ネット上で誹謗中傷やいじめを受けたり、仲間はずれにされたなど。

このような状況が多発しています。被害者の中には、誰にも相談できずに、一人で悩んでいる子どももいます。

お子様の様子がいつもと違ったり、持ち物・服装に顕著な変化があったり・・・などがあれば、一つのサインととらえて、話をしてみてください。その上で不安があれば、学校や関係機関に相談をしてみてください。

- ・米子警察署生活安全課 (33-0110)
- ・西部少年サポートセンター (31-1574)
- ・米子市消費生活相談室 (35-6566)
- ・鳥取県立消費生活センター (34-2648) 他

～子どもの自主性を育むために～

今、市内の小中学校では、子どもの自主性を育てる教育を推進しています。益々多様化する社会の中で、お互いの多様性を認め合い、人として生きていくために大切なことは何だろうかということについて話し合いをおこなっています。

具体的には、自分の周りに「いやな思い」をする人がいたら、自分はどうか。というテーマを立てて、それぞれの子どもが自分の立場で意見を発表し、他の人の意見を聞き、自分の意見を修正し、最後には全員で合意をつくります。互いの多様性を理解するとともに、誰かに言われて行うのではなく、自分たちで築いた合意に基づいてひとりひとりが主体的に行動することで、いじめやからかいが減り、みんなが楽しく生活をすることができます。新たな課題が発生しても、それによって「いやな思い」をする人が一人もいなくなるような解決策をみんなが話し合い、合意の下で解決していきます。子ども達がやがて社会の形成者になった時に「いやな思い」をする人が一人もいない社会を築いていこうとする大人に成長してくれることを願っています。

ご家庭でも、「いやな思い」について話し合ってみてはいかがでしょうか。親の気持ちや子どもの気持ちをより理解でき、自立に向けて成長を促すことにつながればと思います。

子供の健全育成・安心安全のために

少年育成センターは毎週2回、市内の小・中・高校の先生方と一緒に米子駅周辺の巡回指導をしています。また、毎月2回米子警察署、西部少年サポートセンター、スクールサポーター、市内の小・中・高校の先生方と一緒に市内の大型商業施設等を巡回指導しています。少年への声かけや店舗に少年の健全育成への協力依頼をおこなっています。また、放置自転車（盗難車の可能性があるもの）等についても、できるだけ該当の学校に連絡をさせてもらっています。

市民みんなで子どもの健全な育成を育んでいくことが大切です。